

主催者挨拶



齊藤智子

独立行政法人国際交流基金日本語専門家

主催者、独立行政法人国際交流基金を代表してあいさつさせていただきます。日本語専門家の齊藤智子と申します。

本日は 2016 年第 9 回日本語教育シンポジウムにおいでくださりありがとうございます。臨時代理大使菊池様、モンゴル国立大学ムンフツェツェグ様、日本からいらっしゃいました宇佐美洋先生、また本日ウランバートルのみならず、モンゴル全国からお集まりいただきました日本語の先生方に心からお礼を申し上げます。

今年のシンポジウムを通して、ご参加いただいた日本語の先生方には、初中等に限らず、日本語教育に携わる方すべてに日本語教育について教授法、言語観、日本語史などさまざまな角度から眺め、比較し、一つでも新しい視点を持っていただきたいと思っております。特に宇佐美先生に来ていただいたのは、対照研究と言う方法そのものの発想の転換が、私たち教師としてのビリーフを揺り動かし考え方、感じ方を改革してくださるのではないかと期待があったからでございます。

シンポジウムの開催においては、共催であるモンゴル日本語教師会のご協力が不可欠でありました。日本語教師会は長年にわたりモンゴルの日本語教育を牽引し、国際交流基金のスタンダードに準拠する初中等の教科書を作成してくださるなど、私どもの活動に多大なるご協力いただいております。改めて国際交流基金を代表し、心より感謝を申し上げます。

私も幾つかの国で日本語を教えてきましたが、モンゴルの様に、毎週日本センターに集い、スタンダードの勉強会を継続したり、教師会の例会において通算で 65 回もの研究発表がなされたりと、先生方の積極的且つ活発な活動が、継続的に行われている国は見たことがありません。今回のシンポジウムには、モンゴルのあらゆる分野の日本語教育の専門家が一堂に会している場となっております。是非、この機会を最大限に生かし、知識を得るだけの場にとどまらず積極的にネットワークを広げていただければと思う次第です。

最後になりますが、改めまして、皆様方に深く御礼申し上げます。

ありがとうございました。